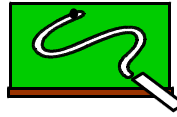


本時のまとめの充実が授業の決め手!!

< 小学校2年 算数「ひき算のひっ算」 >
 【学習活動】 $39 - 15$ の計算の仕方について考える。
 【児童の解答例】



あなたのまとめ
 はどのパターン?
 子どもに力がつく
 まとめ方はどれ?

まとめの時
 間をしっかり
 確保していま
 すか?

A児

B児

C児

D児

$$\begin{array}{r} 39 - 15 \\ \begin{array}{r} 30 \quad 9 \\ 30 - 10 = 20 \\ 9 - 5 = 4 \\ 20 + 4 = 24 \end{array} \end{array}$$

まとめの例1

練習問題をして終わる授業（特に、まとめを板書しない。）

まとめのない授業に
 なっていませんか?



まとめの例2

学び合いによる共有と吟味の場で、A～D児の考えについて理解を図った後で、

T: いろいろな考え方があることが分かったね。

では、今日の学習で分かったことや感想をノートにまとめましょう。

T: まとめたことを発表しましょう。

C: いろいろな考えがあって、おもしろかったです。

本時で学習し
 たことがおさえ
 られていない...

教師がまとめをせ
 ず、児童の言葉や感
 想だけのまとめで、
 終わっていることは
 ないでしょうか?



まとめの例3

A～D児の考え方について共有と吟味を行った後で、

T: Dくんの考えがいつでも簡単にできる方法だね。どれも10のまとまりとばらに分けて考えているけど、Dくんのように十の位と一の位に分けて計算するといいいね。

T: (まとめを板書) 「2けた-2けたのひき算は、位ごとに分けて計算すればよい」

T: では、練習問題をやりましょう。(答え合わせをして、授業終了)

本時の課題の1問
 だけでまとめ(一般
 化)をしていること
 はありませんか?



まとめの例4

A～D児の考え方について共有と吟味を行った後で、

T: どの考えも10のまとまりとばらに分けて考えているけど、みんなが言うようにDくんの考えが簡単にできそうだね。いつでもその考えが使えるか、Dくんの考えで「 $68 - 24$ 」(類題)を解いてみよう。

C: なるほど、Dくんの考えのように十の位と一の位に分けて計算するといつでも簡単にできます。

T: (まとめを板書しながら) 2けた-2けたのひき算は、

C: 位ごとに分けて計算すればよい。

T: では、練習問題をやりましょう。(適用問題をする)

T: 今日の学習で分かったことやよかったことをノートに書きましょう。

C: 図を書くのは大変なので、これからは位ごとに分ける方法を使って計算しようと思いました。

C: はじめはブロックを使ったけど、位ごとに分けて計算する仕方が分かったの、それを使って練習問題が全部できました。

T: とところで、 $43 - 19$ のような計算はできるかな?

C: あれ? 位ごとに分けただけでは計算できない・・・。(次時の課題へつなげて、授業終了)

まとめをする前に類
 題を解き、一般化を図
 りたい。また、類題を
 解くことで友達を考え
 に実際に触れ理解を深
 めさせたい。

児童の言葉を生かし
 ながらまとめを行い、
 学習内容や自分の成長
 について振り返りをさ
 せたい。

